

入学時期：	4月生	学科：	上級行政科	コース：	1年	クラス	-
科目名：	地理・歴史(地理・日本史・世界史)					年次：	-
担当者：	田縁 美穂	単位：	5単位	授業時間：	75時間		

■授業概要・方法等

テキストを用いて講義形式で授業を行う。学生は単元終了ごとに各自で過去問題集に取り組み、その単元の問題を正しく解答できるようにする。また単元ごとに実施する小テスト（公務員試験と同形式）や誤答のやり直しのレポート、総合演習を通じて理解度を確認する。

■学習・教育目標及び到達目標

地理では、世界各国の自然、産業、資源、エネルギー事情、貿易、民族・言語、人口問題などについて学習し、現状や特色を理解する。統計を用いて、生産・産出上位国、貿易上位国などを確認し、確実な知識を身につける。また歴史とも関連づけながら各国の特徴や課題を学び、総合的に地理・歴史を理解できるようになる。

歴史では、古代から近現代までの日本や世界の歴史の大きな枠組みと展開を学習する。その際、国ごとの歴史の流れ、各時代の政策や事件、外交などの内容や意義などを学び、各国の比較や相互の関連づけを通して理解を深める。とくに近現代史では、日本と世界の歴史を関連させながら学習し、現在に至るまでの国際関係や現代社会を学ぶための基礎的な知識を身につける。

これらの学習を通じ、公務員試験大卒程度の地理・歴史の標準的な問題を正答できるようになる。

■成績評価方法および基準

地理	35%（確認テストの総合点数 50%，やり直しレポート提出 50%）
日本史	30%（確認テストの総合点数 50%，やり直しレポート提出 50%）
世界史	35%（確認テストの総合点数 50%，やり直しレポート提出 50%）

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

■教科書

【地理】

- 『地理テーマ別テキスト』（本校独自）
- 『上級地理 各国・地域別テキスト』（本校独自）
- 『上級地理 過去問題集・解答解説』（本校独自）
- 『地理統計要覧 最新版』（二宮書店）

【日本史】

- 『上級日本史テキスト』（本校独自）

『上級日本史過去問題集・解答解説』（本校独自）

『上級日本史 本日の復習』（本校独自）

【世界史】

『上級世界史テキスト』（本校独自）

『上級世界史過去問題集・解答解説』（本校独自）

『上級世界史 本日の復習』（本校独自）

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【地理】

(4-7月 15時間)

時 数	内 容
1	ガイダンス, 気候の特色とグラフ
2	気候の特色とグラフ, 植生と土壌
3 ~ 5	ラテンアメリカの国々
6 ~ 7	東アジアの国々
8 ~ 10	東南アジア・南アジアの国々
11 ~ 13	ヨーロッパの国々
14 ~ 15	アフリカの国々

(8-10月 10時間)

時 数	内 容
16	世界と日本の水産業, 海流
17	世界の資源とエネルギー事情
18 ~ 20	西アジアの国々
21	北アメリカの国々
22	オセアニア・CISの国々
23	世界の山脈・海峡・河川・砂漠のまとめ
24	地形(扇状地, 三角州, リアス式海岸, フィヨルドなど)
25	世界の人口, 都市問題, 民族・宗教・言語について

時間割上の科目名:【日本史】

(4-7月 15時間)

時 数	内 容
1	ガイダンス, 江戸時代(幕府成立と統制策)
2 ~ 3	江戸時代(初期の外交, 文治政治への転換, 元禄の治, 産業・経済など)
4 ~ 5	江戸時代(正徳の治, 三大改革)
6 ~ 7	江戸時代(列強の接近, 開国, 幕末の動乱)
8 ~ 9	明治時代(新政府の政策)

10	～	11	明治時代（自由民権運動，外交と条約改正）
12			明治時代（日清・日露戦争，産業革命，桂園時代）
13			大正時代（第1次世界大戦，国際協調時代，戦後恐慌）
14			昭和時代（金融恐慌，満州事変，日中戦争，第2次世界大戦）
15			政党政治の変遷

(8-10月 10時間)

時 数	内 容
16	戦後の日本（五大改革，朝鮮戦争，経済の動きなど）
17	戦後の日本（歴代内閣と出来事など），日朝関係史，日露関係史，琉球史
18	白鳳時代～奈良時代（律令政治の成立と崩壊，文化，外交など）
19	～ 20 平安時代（律令政治の再建，摂関政治，院政，平氏政権，文化など）
21	～ 22 鎌倉時代（幕府の成立，執権政治の展開，元寇，文化，鎌倉新仏教など）
23	～ 24 室町時代（南北朝動乱，幕府の成立，日明貿易，土一揆，応仁の乱など）
25	戦国時代，織豊政権（政策，外交，文化など）

時間割上の科目名:【世界史】

(4-7月 15時間)

時 数	内 容
1	ガイダンス，イギリスの産業革命と19世紀の自由主義
2	～ 3 各国の帝国主義（イギリス，フランス，ドイツ，ロシア，アメリカ）
4	第1次世界大戦と戦後処理，国際協調時代，
5	世界恐慌と各国の対策
6	ファシズムの台頭，第2次世界大戦の勃発と終結
7	～ 8 アメリカ史（独立戦争と19世紀の発展）
9	～ 10 戦後の社会（アジア各国の独立について）
11	～ 12 戦後の社会（冷戦構造の確立と，戦後の米ソの動き）
13	～ 14 中国史（清王朝の成立～辛亥革命）
15	中国史（国民党と共産党との対立，戦後の中国社会）

(8-10月 10時間)

時 数	内 容
16	～ 18 中国史（古代～唐王朝）
19	～ 21 中国史（宋～明王朝）
22	～ 23 フランス史（フランス革命，ナポレオンの帝政，ウィーン体制）
24	19世紀の欧米諸国のまとめ，イスラム史（イスラム教の興りと発展）
25	インド史（仏教誕生，ムガル帝国の興亡，セポイの反乱，独立運動）

■履修にあたっての注意事項

予習は必要ありません。復習をしっかり行い、授業の進行に合わせて過去問題に取り組み、ポイントを掴みましょう。

■その他